

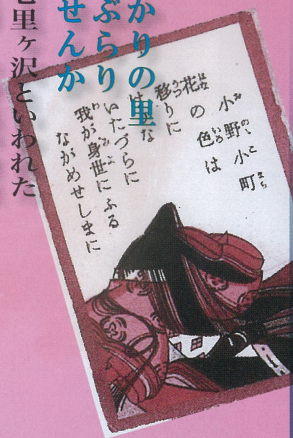
平安ロマンを訪ねて...

# 小町伝説



## 小野小町生誕伝説の地 小野町

小野篁と小町ゆかりの里  
歴史の足跡をぶらり  
訪ねてみませんか



『時は平安朝初期、七里ヶ沢といわれたこの一帯に、公家の血を引く小野篁が救民撫育のためにやって来た。都の教養人であった篁は、この地を「小野六郷」と称して治め、産業や文化の礎を築くのに懸命の日々を送っていた。ちょうどその頃、篁の莊園に仕えるひとりの娘がいた。「愛子（めぐみ）らこ・珍敷御前」というその娘は息をのむほどに美しかった。篁と愛子はたがいに文を交し合う仲となり、そして結ばれた。間もなく玉のように愛らしい娘が生まれた。ふたりは姫を比古姫と名づけ、たいそう大事に育てた。やがて比古姫が六歳になったある春の日、篁は妻愛子をこの地に残し、姫を連れ都へ上がったのだった。』

この比古姫こそ後の小野小町である。とするのがわがまちの説です。残念なことに比古姫が生まれ育ったことを示す記録は残されておりません。しかし現在でも、小野篁を祭神とする矢大神社が人々の尊崇を集めていること、さらには、京に上がる比古姫の美しさに魅せられ振り返ったという片葉葦が山里に残されていることなど、やはりこの町は小野氏に深い縁を持つ土地柄、そして『小野小町生誕の地』というロマンが生きる地でもあるのです。

矢大神社



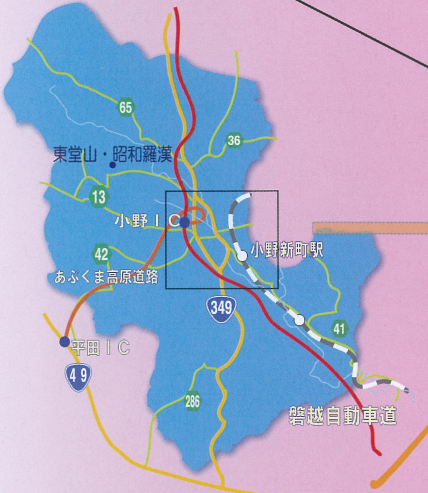
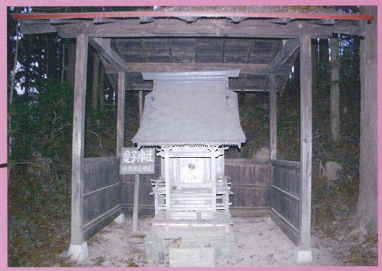
小町モニュメント



小野篁館跡



愛子神社（珍敷御前）



小野町・小野町観光協会  
〒963-3492  
福島県田村郡小野町大字小野新町字館廻92番地  
(小野町役場産業振興課内)  
電話 0247-72-6938  
FAX 0247-71-1037  
kankou@town.ono.fukushima.jp  
2017.改訂

